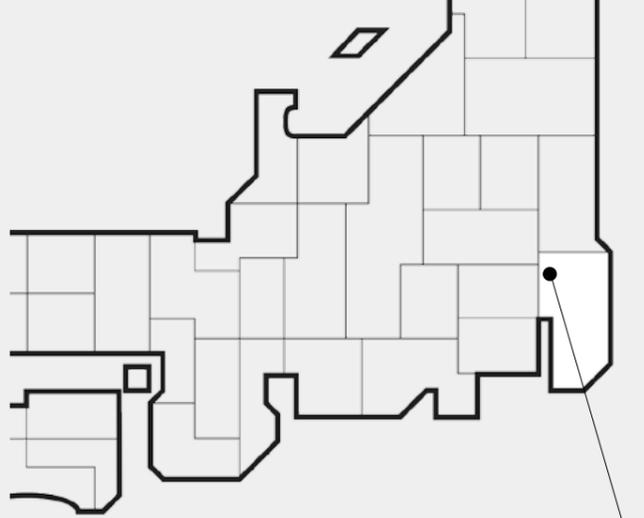


統括管理部を設置し一体的に支援  
独自にフレイルチェックや活動評価も



千葉県 柏市

柏市地域包括支援センター

総面積	114.74 km <sup>2</sup>
人口	41万5,657人 男 20万6,161人 女 20万9,496人
65歳以上	10万4,967人(男 4万7,484人 女 5万7,483人)
高齢化率	25.25%

(2017年10月1日現在)

執筆：柏市保健福祉部地域包括支援課 副参事 須藤勝己

柏市は、千葉県の北西部に位置し、東西の距離は約18km、南北の距離は約15km、利根川を境に茨城県と接するまちです。市域のほとんどは平坦で、下総台地の広い台地上を中心に、市街地や里山が形成されています。

都心から放射状に常磐線・つくばエクスプレス、南北には東武アーバンパークラインの鉄道が通り、道路は東京・茨城方面への国道6号線や常磐自動車道、埼玉・千葉方面への国道16号線が通り、交通幹線の交差点に位置する要衝となっています。

恵まれた地理的条件などを背景に、1960年代より東京のベッドタウンとして人口が急増しました。高齢化率は1990年には一般的に高齢化社会

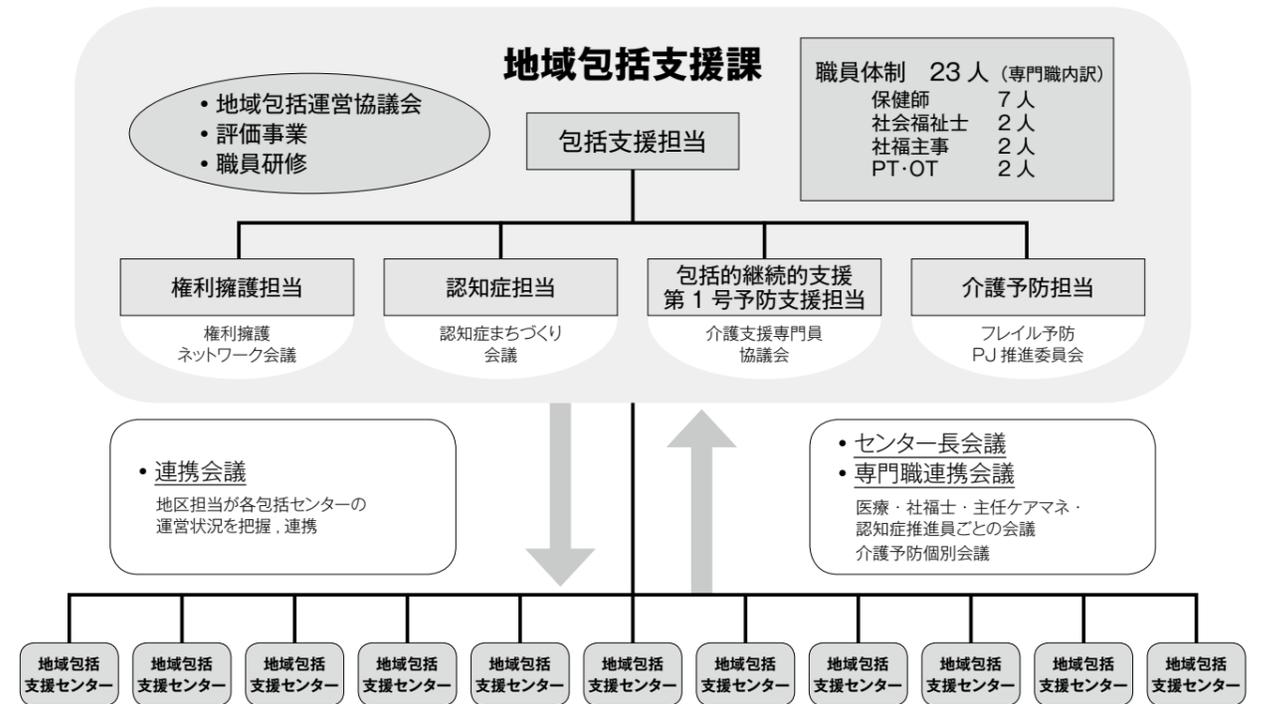
といわれる7%を超え、2004年には14%、現在は25.25%となっています。

▼ .....  
スタート後2年間で委託先の人材育てる

柏市では2005年度、「第3期柏市高齢者いきいきプラン21」(2006～2008年度)の策定において、市内を7つの日常生活圏域に区分し、各圏域1カ所の地域包括支援センターの設置を決定しました。

進めるにあたって、まずは2006年度に設置した直営の地域包括支援センターで2年間、在宅介護支援センターの職員を受け入れ、実地研修

図1 柏市地域包括支援センターの体制図



などで人材を育成した上で、順次、各圏域に委託方式による地域包括支援センターの設置を進めることとしました。

委託先の選定にあたっては、2005年度に在支を委託していた13事業所を対象に、2005～2006年度の2カ年で地域包括支援センターへの転換の意思や運営の能力等に関し、プロポーザル方式によるヒアリングおよび評価を実施しました。

よりきめ細かい相談支援を行うため、2008年度より順次、委託方式による地域包括支援センターを増設し、直営のセンターは2009年度をもって廃止に。2010年度には当初の計画どおり、7つの日常生活圏域に委託方式による地域包括支援センターの設置を完了しました。

▼ .....  
役所内に統括管理の部署を立ち上げ

直営から委託への完全移行と同時に、柏市保健福祉部の組織改編も行いました。具体的には、各地域包括支援センターの統括管理と地域包括ケアシステムを推進する部門として、「福祉活動推進課」を新設しました。

同課にはリハ職を含めた専門職を配置し、センターの総合的な取りまとめや、支援困難事例や虐待事例等の支援を行っています。地域の課題や目指すべき姿をセンター間で共有し、相互に連携した効果的な取り組みと、一体的な運営体制を構築し、業務全体の底上げにつなげています。2018年度には地域包括ケアのさ

らなる推進のため、「地域包括支援課」に課名を変更しました(図1)。

現在、地域包括支援課では、毎月センター長会議を開催し、好事例や課題、解決策等の情報共有を図っています。また、専門職連携会議を定期的に開催し、職員のスキルアップと情報交換の機会を設けています。

7つの日常生活圏域に設置を完了して5年が経過し、圏域ごとに高齢者数の偏りが生じてきました。身近な場所で相談ができる体制を構築するため、2015年度に2カ所、2017年度はさらに2カ所を増設し、現在、11カ所の体制となっています。

2017年度に増設した2カ所は、高齢者も多く利用するショッピングモール内に開設しました。働きながら介護する家族や、両立に不安や悩みを抱